

普段とは違う視点から見た23区、
知ればもっと面白い!

クマなく さんぽ



足立区

足立区の農業の歴史と 自然との共生を学ぶ施設 「足立区都市農業公園」

1984年に開園し、1995年にリニューアルオープンした足立区都市農業公園は、「自然と学ぶ、自然に学ぶ、自然と共に生きる」をテーマにした公園です。自然環境とふれあい体験することで得られる、さまざまな学びを提供しています。

自然と学びにあふれる施設

園内には、熱帯植物が栽培されている温室やハーブ園がある「人と自然の共生館」、足立の産業のひとつだった染色や紙すき体験のできる「工房棟」、園で収穫した野菜を使った料理が楽しめる「レストハウス」、区内から移築した江戸時代末期の古民家と長屋門など、足立区の自然と農業をテーマにした施設が揃っています。工房棟には、昔の農機具の展示室もあり、かつて盛んだった足立区の農業の歴史を伝えています。

園内の各施設には自然解説員が常駐しており、施設の説明や園内のガイド、バラエティに富んだ環境教育プログラムの実施などを担当しています。



園内の田んぼで稲刈り体験

自然と農業をテーマに運営

園内にある田畑は、農業と環境との関わりを学ぶ場として大きな役割を担っています。田畑では無農薬無化学肥料による栽培が行われ、農業体験などによる産業としての農業と自然環境との共生についての学びを提供しています。農作業は主に自然解説員やボランティアが行いますが、来園者を対象にした田植えや稲刈りや野菜の収穫体験、無農薬無化学肥料栽培での野菜の作り方教室なども実施しています。

園内に咲く四季折々の花々も、見どころのひとつです。春には、「五色桜」と呼ばれる約50種290本の桜や河川敷のチューリップ、秋にはコスモス、冬には梅が咲き誇り、訪れる人の目を楽しませています。



昔の農機具を展示/工房棟



↑レストハウスでは、収穫したの野菜を使った料理が食べられる

有機農業見本園を目指して

足立区都市農業公園では、「緑と農と食と地域のフィールドミュージアム」の実現に向けて、さまざまな取り組みを行っています。各施設では、楽しみながら自然を学ぶことができる多彩なプログラムが、毎日実施されています。季節ごとに開催されるイベントも充実しており、自然とふれあうことを目的に、区内外からたくさんの人々が訪れます。

今後は、「都市における有機農業見本園」を目指しながら、より充実したプログラムやイベントの実施と、さらなる周知を図っていきます。

年に5回、大きなイベントを開催しています。

約50種290本の桜を楽しもう!

園内では約50種290本の桜を見ることができます。早咲きから遅咲きのもので品種によって咲く時期も様々なので、3月から4月下旬まで楽しめます。

濃紅色・白色・黄緑色など色とりどりの花が咲いた風景は、まるで五色の雲をたなびかせたように見えたことから「五色桜」と呼ばれています。美しい桜の咲く風景をぜひお楽しみください。



足立区都市農業公園

所在地 足立区鹿浜2-44-1
開園時間 9:00～17:00(9月～4月) / 9:00～18:00(5月～8月)
休園日 第1・第3水曜日、12月29日～1月1日、4月は休園日なし
入園料 無料
駐車料金 普通車100円/30分(当日最大900円)、
大型車200円/30分(当日最大1,800円)
アクセス 東武伊勢崎線・西新井駅より
鹿浜都市農業公園行バス終点下車目の前
お問い合わせ 03-3853-4114

